



2016 VEC関西 10大ニュース



一年が経つのは早いもので、もう10大ニュースに悩まされる季節になりました。今年も交流会は9回開催し、毎回40人前後のご参加を戴いています。VEC関西はアーリーなベンチャーの育成と情報交換ネットワークづくりを主体に活動してまいりました。

1. ご愛読賜わっている、この「てんこもり」もこの12月号で147号、発刊12年を超えました。まだまだ頑張るつもりですので応援をお願い致します。
2. VEC創業当時より支援賜わっていますフジキン小川会長が春の叙勲、旭日双光章を受賞されました。心より祝福するとともに益々のご活躍をお祈りいたします。
3. VEC東京本部、9月に事務所を新宿から九段下に移転しました。なお一層のご活躍を祈ります。気軽にお立ち寄りください。
4. VEC関西の濱本さん主宰女子有志の会「プレミアムクラブ」は中部地区の女性ベンチャーとも連携して、一段と発展を目指しています。
5. 今年もベンチャー白書発刊。電子版、冊子版も定価5,400円税込み、ご購入お願い致します。
6. 近畿経済産業局の女性活躍支援「LED関西」にVECもサポーターとして参画。2回で各10名のファイナリストのうち2名の女性経営者を応援しています。(金城、光畑 様)
7. 関西VECでは長年、ベンチャーの育成に草の根的な支援をしてこられた方に感謝状を差し上げ、感謝の意を表わすことにいたしました。
8. やはりこれからは海外で起業されている方々との連携が必要とのコンセプトで台湾やシリコンバレー、スリランカ、イスラエルなどでご活躍の諸氏にお話し頂きました。
9. フレッシュな大学生にもベンチャーのことも知って頂くため、大阪府内の大学に一日講師を紹介しました。
10. 関西VECと特別ご縁の深い諸氏の講演会に交流会メンバーとともに参加、サポートさせていただきました。(子供向け整理整頓、笑いのセミナー、高野山大学講演、スリランカセミナー など)

(番外) 今、恥かしながら、光畑先生の「らくらくピアノ」に澤村事務局長とともにハマっています。そのうち成果のほどをご披露したいと思っています。その際はご欠席されないようにお願いします。

VEC関西支部長 本田 英行

今年を振り返って

2016年はどんな年だったでしょうか。振り返ってみますと、1月、「マイナス金利」の導入決定。2月、シャープが鴻海の傘下入りを決定。4月、平成28年熊本地震(本震)発生。5月、三菱自動車日産の傘下、伊勢志摩サミットが開催、オバマ大統領が広島訪問。6月、英国のEU離脱是非を問う国民投票で離脱派が勝利。7月、東京都知事選挙、小池都知事誕生。8月、リオデジャネイロオリンピックが開催。10月、大隅良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞。11月、アメリカ大統領選でトランプ氏の勝利、韓国朴槿恵大統領の友人女性実業家国政介入疑惑などが、主な出来事でした。

本当に色々大きな出来事があった年でしたが、その中でも大方の予想を覆したショックな出来事が、「英国のEU離脱」と「アメリカ大統領選でのトランプ氏の勝利」です。

英国のEU離脱是非を問う国民投票は、ほとんどの予測は残留だったのですが、EU参加国が条約により独自の金融政策を取れないことや、EU域内での労働者の移動が保証されていることによる移民・難民の問題が背景にあり、国民の意思は離脱となりました。このことは、スーパナショナリズム(超国家主義)の否定や、英国議会の復権を意味するものかも知れません。

トランプ氏の大統領選では、アメリカはもともと白人が建てた国なのに、中南米からの移民が増え、仕事を奪われているという白人労働者たちの不満と不法移民に抱く危機意識があったようです。

アメリカ人は一般的にエスタブリッシュメントの政治家を嫌うという事情があり、ヒラリー氏が予想以上に嫌われたということです。また、中立・公正なはずのマスコミが、トランプ氏の過激な発言とヒラリー氏嫌いを取り上げて、中傷合戦と醜聞に終始した「史上最悪」と呼ばれる大統領選となりました。

フランスの歴史人口学者エマニュエル・トッド氏は、英国のEU離脱とトランプ現象を「グローバル化への疲れだ」と指摘しています。グローバル化が行き過ぎると、人口のわずか1%の人々による特権化が起き、そうしたグローバルイズムにはこれ以上耐えることができないという大衆の反発であり、「民主主義の復活」と分類することができる。それを高学歴のエリートと呼ばれるような人たちが、「ポピュリズム」と言っていると述べています。

「ポピュリズム」「保護主義」今年の潮流はグローバル化への抵抗でした。来年はこのトレンドを受け、世界の政治・経済が「想定外」のカオスになるかも知れません。

はしもと経営研究所 中小企業診断士 MBA 橋本豊嗣
(独)中小機構 近畿本部 チーフアドバイザー

★ 次回 VEC新年交流会のご案内 (12月、1月の交流会開催はございません)

・平成29年2月7日(火)午後6時から

場所: 綿業会館

講師: 大阪大学大学院研究科知能・機能創成工学 専攻教授 浅田 稔 様

演題: 「これからの人工知能・ロボットのカギは共生」

起業と21世紀社会

この5月、NHKスペシャル「天使か悪魔か 羽生善治 人工知能を探る」の中で、大手日本企業で働く志のある若手従業員が、企業内での研究・開発ではあき足らず、企業を飛び出して自分の志を実現することを選ぶいくつかの事例が紹介されていた。番組の主旨は、そうした若手が企業内では次々と育っており、次世代の日本は彼らが担うと予測していた。視聴者のわたしも同感の思いや重なるものを感じている。

在阪都市銀行の国際部門に永らく勤めた経験と50歳定年後に5年程足を入れた同じ銀行系列のベンチャーキャピタル（投資組合管理部長と常勤監査役）で体得した勘と実経験から、また兼任した神戸学院大学アジア太平洋研究センター（使用言語は、日本語、英語）研究員として内外研究者との交流、別府にある立命館アジア太平洋大学での教鞭、そして十数年勤務する太成学院大学の留学生やゼミ生との触れ合いなどから、接する多くの若者は志を持ち、夢を語りその先に孫正義やビルゲイツ、最近ではアリババの創業者のような起業を展望している。生々しい言い方をすれば、「大富豪」が最終目的のようにも見える。日本人若手起業家はどうか。志の彼方には外国人と同じようにユニクロ・柳井正や日本電産・永守重信があるのか。起業成功のその先に、かつての松下幸之助や本田宗一郎の実践した豊かな経済社会・経済を基盤とした安心安全な世の中造りはあるのだろうか。

20世紀は資本主義と共産主義の両陣営に大きく分かれていた。共産主義はソビエト社会主義連邦に始まり1989年ベルリンの壁崩壊と1991年のソ連崩壊で終焉した。筆者が勤務したベトナムでもまた近隣に駐在したキューバでも長い社会主義・共産主義の実験の結果は、「人々は、支持した体制下目指した豊かさ（飢餓や空腹ではない、食べていける世界）が、結局実現できなかった。」に尽きる。

*参考図書：「貧困の克服」アマルティア・セン（ノーベル経済学賞）、「文明の衝突」サミュエル・ハンチントン

若人が担う21世紀はどうなるのだろうか。日本社会は、失われた〇〇年から充分抜け出せない下、少子高齢化が日々進む。フランスの経済学者トマ・ピケティは、世界各国の経済社会が格差社会に進んでいることを提示した。その解決方法は、政府による所得再分配策（高所得者へ高い税金を負担してもらう）である。そうした社会で、果たして志や気力ある“企業家”は輩出するのだろうか。

*参考図書：「歴史の終わり」F.フクシマ、「大国の攻防」P.ケネディ 以上

太成学院大学教授 関戸恒昭



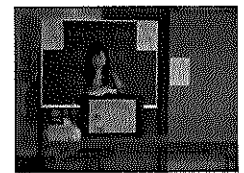
VECLレポーターが行く!!

ママが変われば子どもも変わる!子どもと一緒にがんばりつづけて ~整理収納のキホン~
株式会社ベイルインテリア 金城貞美代表

10月12日（水）大阪市城東区子育てサロン「ブッチクラブ」にて（株）ベイルインテリア 金城代表が講演をされました。当日は0歳～4歳就園前25組の親子が参加され金城代表のお話が聞きたいママさんで大盛況でした。金城代表は、日々お母さんが困っておられるお子さんのおもちゃ、洋服などのお片付けを判りやすく講義され「お子さんと一緒にがんばりつづけて」をテーマに整理収納を楽しみながら親しんでいくというお話でした。

講演終了後もお母さんからの質問も多く、参加された皆さんの関心の多さが読み取ることができました。

今後、金城代表におかれましても新しい展開の整理収納のキックオフとしてご成功をお祈り致します。



レポート：VEC関西支部事務局 濱本

「自らの頭で考え、自らの脚で立つ事の大切さ」

数年前から経済格差に関する名著が次々に出版されています。世界的に有名になったトマ・ピケティ氏の「21世紀の資本」を始め米国の大学教授A. コーエン氏の「大格差」そして日本でも富山氏（元産業再生機構代表）等が名著を次々と発表していますが、それらの本を読んで強く感じ、そして不安にも思っている事を述べてみます。

格差の問題は経済格差の他に地域格差や最近では年代格差など様々な格差が表面化しているが、私が一番懸念しているのは倫理観格差（筆者の造語）である。身辺を見渡して強く感ずるのは真面目な経営者、企業、個人などは時代や環境がどうあれ、その生き方は増々真面目、真摯な姿勢となり、一方ではグレー化、ブラック化する企業も多く、その格差は急速に広がる一方である。ブラックの代表としては先般、大手居酒屋チェーン店の新卒女子社員への異常に過酷な労働条件の中での自殺に対して企業側に高額な賠償判決が出ましたが、個人問題では若い両親の赤ちゃんへの虐待死、又は高齢の両親の死亡を隠し両親の年金を長期に亘り不正受給する人、そして関東方面でメディアで有名になった保育所新設に騒がしいとの理由で反対する住民など・・・

経験則上メディアに出現するのは一部のみで多くは潜在化していると言う事実を愕然とした思いで実感しています。数えあげれば私の周辺だけでも数々の事例が出てきます。

先月NHKのTV番組でもこの問題を長時間に亘り取り上げ論じていましたが、その中でNHKは「不寛容社会」の到来と言う表現を使っていますが、真に倫理観格差の問題でした。私の経験則上、平成元年のバブル崩壊の時もそうでした（NHKは平成元年11月3時間×5夜連続、計15時間）がNHKがドキュメンタリー仕様で長時間に亘り取り上げる時は、その事柄事体が相当に深刻な状態に陥っている事です。

話しがそれるが、東日本大震災の折に元東京都知事の石原氏が、これは天罰であると発言して世間の反感をかいましたが、同氏の思いはここ数年来、私が感じている事を同氏の言葉で表現したに過ぎない事だと直感的に感じていました。そして知事退任後、直近の一年間だけでも10冊以上の出版（殆んど警世書）しておりそれらを読むと私の思いが間違いでなかった事が良く解ります。そしてその様な問題の起因として今の日本人が自らの頭で考え自らの脚で立つ事を忘れ去っていると言う事が良く理解できます。残念ながらこの事柄は一朝一夕で解決できる問題ではありません。論語に一年の計を凶るは穀を植えよ！十年の計を凶るは木を植えよ！百年の計を凶るは人を育てよ！真に教育の問題でありこの問題の解決には相当の覚悟と年月を以って取り組む必要があります。

ブランメゾン株式会社 代表取締役 白屋 健二

～VEC関西より～

・今年も年賀状の文面に頭を悩ます季節になりました。交流会では様々な分野でご活躍の方々から興味深いお話を賜わり、ご参加いただく方も毎回40名前後で二次会まで盛り上がる時もあります。そのうち交流からビジネスまで発展することを願っています。次回は2月ですのでご期待下さい。
(本田)

・最近の野菜高騰!!主婦としては困ります。今まで捨てていたような部分でもモットイナイと工夫をして使うようになったのは良かったと思いますが…キャベツ、白菜の芯とかは酢漬けにしたらメッチャ美味しいです。これからは鍋の季節（我が家は年中鍋の季節ですが(笑)）早く値段が下がってほしいものです。今年も有難うございました。来年も宜しくお祈り申し上げます。
(藤本)

・先月の初旬、以前よりプライベートでも親しくさせて頂いている（株）アトラステクノサービス 鋼社長所有の田んぼの稲刈りのお手伝いに行きました。

到着すると既に鋼社長を中心とした泥まみれの女性陣がテキパキと作業されており、稲刈りデビューの私は刈った稲の天日干し作業が一杯一杯でした。しかし全ての作業が終わり夕日に照らされて綺麗に並んだ稲木干しの風景はほのぼのとした「日本の秋」を感じました。今後ともVECを通じてのお付き合いを大切にしていきたいと思っております。
(濱本)

・今年のVEC活動集大成をVEC関西10大ニュースに要約いたしました。まだまだ不十分な点もあるかと思いますが引き続き少しでもお役に立つVECを目指して行動して参ります。来年も何卒よろしくお願い申し上げます。
(澤村)

<交流会の予定> 詳細は一面に掲載しております。
新年交流会 平成29年2月7日（火）午後6時から。
※12月、1月の交流会開催はございません。

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293